

【記入例】

様式 1

助成金交付申請書

令和 年 月 日

一般財団法人秋田県職員互助会理事長 様

事務所の所在地 秋田県〇〇市〇〇〇 1 8 番

団体名及び代表者名 あきたを発信する会

代表 咲 ほこれ

(連絡先)

◆押印は不要です。

電話番号： . . . - . . . - . . .

F A X： . . . - . . . - . . .

E - mail： @

次のとおり申請します。

◆ 他の助成を受けようとする事業や、本事業による助成をこれまでに3回以上受けた団体が実施する事業は助成の対象になりませんので、注意してください。

1 事業の名称 あきたの魅力発見フェス

2 事業の概要 別紙のとおり

3 助成金申請額 724,000 円

◆ 様式3「収支予算書」-「収入の部」の助成金の予算額と一致させてください。

4 事業の実施期間 令和7年5月1日～令和8年1月31日

◆ 事業に着手する(準備を始める)日から助成事業実績報告書(様式7)を提出するまでの期間としてください。なお、本会の運営上、年度内に助成金の支払を完了させたいため、令和8年3月13日(金)までに助成事業実績報告書を提出(必着)してください。経費の支出や実績報告書の作成に要する日数等も十分考慮の上、実施期間を設定して下さるようお願いいたします。

※1 2は、公益財団法人の認定等に関する別表各号の事業を記載すること。

※2 様式2及び様式3を添付すること。

※3 県の機関からの推薦を受けている場合は、申請書はその機関に提出すること。

【記入例】

別紙 事業の概要

(1) 事業目的、効果やねらい
<p>◆ 実施要綱第2条に記載された「助成対象となる4つの要件」を全て満たしていることが分かるように記入してください。また、「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律別表」の何号に該当する事業なのか明記してください。</p> <p>古くから地域に伝わる伝統的な文化・行事の継承に向けた気運醸成の一助となるよう、これらの魅力を発信できる機会を創出するとともに、秋田の新しい文化を紹介し、交流人口の拡大につなげようとするもので、互助会員を含む県内外の住民等を対象とするイベントである。(新秋田元気創造プラン 戦略3「観光・交流戦略」目指す姿3「文化芸術の力による魅力ある地域の創生」に関連する)</p> <p>※<u>公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律別表2号、19号、20号に該当する事業である。</u></p>
(2) 事業内容
<p>◆ 「(2) 事業内容」、「(3) 事業の説明」については、審査の重要なポイントになりますので、事業の全体が把握できるよう、できる限り詳しく記入してください。ページ数に制限はありませんので、必要に応じて欄を広げたり、別紙として添付してもらうことも構いません。</p> <p>①実施予定期間 令和7年10月13日(月・祝)</p> <p>②実施場所 秋田県立武道館</p> <p>③実施事業内容 ((3)に記載する内容を除く)</p> <p>県内各地域で受け継がれてきた伝統文化や若者が創造した新しい文化を同じ場所に集合させて「あきたの魅力発見フェス」を、地域住民や若者団体が主体となった“参加型”で開催する。会場内は、ステージでの披露や展示ブースでの紹介など、参加団体が独自の発想で自由に企画できるものとする。併せて、飲食ブースでは、県内の様々な食文化を提供する。</p> <p>④参加者の範囲(募集範囲) 県民及び県外観光客 他</p> <p>⑤参加予定人数(スタッフを除く) 5,000人</p>
(3) 事業の説明
<p>※次の項目について記入ください。</p> <p>下記項目、(2)④、⑤及び互助会事業としての妥当性等について審査しますのでご承知おきください。</p> <p>①発展性・継続性(参加者が次回も参加したいと思える事業か。地域住民やボランティアなど支える側の参加の拡大が期待されるか。)</p> <p>“秋田らしさ”を実感できる住民参加型のイベントである。いずれは、企業の支援・協賛をもらえるようなイベントとして定着させたい。</p> <p>②地域性(地域課題を的確に捉え、解決手段に地域資源を活用しているか。)</p> <p>少子化・高齢化の進行により、地域における文化の保護・継承は大きな課題となっており、これらの魅力を直に感じてもらえる他にはない機会を提供する。</p> <p>③費用効果(事業が与える効果が高いか。期待する成果の実現性が高いか。)</p> <p>秋の行楽シーズンの最中に開催し、県外観光客や帰省中の県出身者を誘導することにより、交流人口の拡大とふるさとへの愛着心回顧につなげる。もって、秋田への移住・定住促進への一助としたい。</p> <p>④アピール性(話題性や関心を高められるか。事業の”売り”は何か。)</p> <p>秋田県内の新旧文化・行事が一堂に会する“秋田県版文化祭”として発信する。</p> <p>⑤独創性(独創的な取り組みか。独自の工夫がなされているか。)</p> <p>文化活動に携わる地域住民や若者団体が主体となって秋田の魅力を県内外に一気に発信する、県内唯一のイベントである。</p>

その他、事業をPRするための資料(パンフレット、会報、新聞記事等)がありましたら添付してください。

【記入例】

様式 2

(単位：円)

事業実施計画書

1 事業実施年度の計画

◆ 事業費の計は、様式3「収支予算書」－「支出の部」の予算額の計と一致させてください。

区 分	事業費	費用の内訳
あきたの魅力発見 フェス	914,000	・ 会場設営・運営費 515,000
		・ 広告・宣伝費 165,000
		・ 人件費 30,000
		・ 消耗品購入費 50,000
		・ ボランティア経費 24,000
		・ 備品購入費 130,000
計	914,000	

2 事業実施予定

◆ 次年度（令和8年度）の実施予定があれば記入してください。

年度	事業費	事業内容
8	900,000	第2回あきた魅力発見フェス ※県南の会場で開催

【記入例】

様式 3

収 支 予 算 書

- ◆ 収入の部の「助成金」の予算額は支出の部の「対象経費計」の額を超えないこと。
- ◆ 収入の部及び支出の部の「区分」欄には、収支の科目（性質・種別）毎に整理して記入してください。摘要欄には、予算額の積算内訳（目的・内容、単価、数量等）を記入するとともに、外注するものについては、できる限り見積書（写）を添付してください。

収入の部

（単位：円）

区 分	予算額	摘 要
出展料	150,000	展示ブース @ 5,000×20=100,000 飲食ブース @ 5,000×10= 50,000
自己資金	30,000	
協賛金	10,000	文化団体から
<u>助成金</u>	<u>724,000</u>	
計	914,000	

- ◆ 支出の部について、事業実施要綱第3条に基づく助成の対象経費と対象外経費に分けて整理し、それぞれの計を記入してください。

支出の部

（単位：円）

区 分	予算額	摘 要
①会場設営・運営費 報償費 会場借り上げ料 委託料	15,000 100,000 400,000	ステージMC謝金 @ 15,000×1人 15,000 県立武道館 100,000 ステージ運営（音響設備含む）一式 <u>別紙見積書（写）のとおり</u> 150,000 電気配線工事（展示、飲食ブース他）一式 <u>別紙見積書（写）のとおり</u> 130,000 養生シート敷設 120,000
②広告・宣伝費 印刷・広告費	165,000	広告掲載（フリーペーパー） 50,000 チラシ印刷費（5,000枚） 50,000 ポスター印刷費（300枚） 45,000 ポスターデザイン費 20,000
③人件費 人件費	30,000	会場設営・撤去補助 30,000 @ 1,000×3時間×5人×2日
④消耗品購入費 消耗品購入費	50,000	ゴミ袋、印刷用紙、ガムテープ、マジック、 装飾用品等
⑤ボランティア経費 保険料 食糧費	9,000 15,000	ボランティア保険 @ 300×30人 9,000 ボランティア弁当代 15,000 @ 500×30人
<u>対象経費計</u>	<u>784,000</u>	
⑥備品購入費 パソコン購入費 プリンタ購入費	100,000 30,000	
<u>対象外経費計</u>	<u>130,000</u>	
合計	914,000	